

さくらフェス、レッツ&ゴー!!

伊藤さんはこれまでみのくれに足を運んだことがなく、小美玉さくらフェス（以下さくらフェス）の実行委員をやっていた友人に誘われ、みのくれにやってきました。その友人は「ボランティアをやったことがないので人生の経験の一つだと思って来てみたんです。そしたらなんと！実行委員長になってしまったんですよ。しかも初参加で委員長ですよ。でもここに来なかつたらみのくれに関わっている方々と一緒にさくらフェスを作り上げる商工会のみなさんと会うこともなかったのだから良かったと思います」と伊藤さん。

さくらフェスは四季の里芝生広場や、みのくれの館内をフルに活用して色々なイベントを行います。当日、伊藤さんは風の広場（中庭 担当）「しゃぼん玉は少し水分が少なくなると壊れなくて、雨の日の方がいいみたいです。でも

何かを作ることが好きなんです。

立春を過ぎてまだまだ寒い日が続きますね。北風が運んだ落ち葉をそっと持ち上げると・・・福寿草の花が咲いています。クリスマスローズの花も咲きはじまりましたよ！そろそろ梅の便りも聞こえてきて、春の足音が近づいてきました。今回は4月4日に盛大に行われる「小美玉さくらフェステイバル」の実行委員長で小美玉市佐才地区にお住いの伊藤勇太さん取材します。

さくらフェスの日は晴れた方がいいんですけど（笑）。同じ風の広場担当の実行委員さんの中には保育士さんや小学校の先生がいるので、小さな子どもさんから大人にも喜んでもらえる企画が選ばれました。現在、試作品作りまで進んでいます。人が入れるしゃぼん玉も作るの、それが目玉になると思います」と伊藤さんは楽しそうに話してくれました。

伊藤さんの趣味はミニ四駆。今ミニ四駆は第三次ブームがきているそうです。「6か国が集まった世界大会もあるんですよ。仕事から帰ってきてても休みの日もひたすら机に向かって、少しでも速くなるように黙々と作業しています。週8日？くらいのレベルです。週8日？（笑）。3年前にたまたまお店で見かけて懐かしいなと思って始めて、それからハマってしまいました。芸能人の間でも流行っていて、都会にはミニ四駆の居酒屋もあって、そこは居酒屋の中にミニ四駆のコースがあるんですよ！ミニ四駆と聞くと子どものおもちゃという印象が強いと思いますが、年齢や性別に関係なく様々な方が楽しんでいますね。

『あつ！こんな人もやるんだ』って思う人がやっていたり。仕事が終わって大会がある時は、その会場に出かけて行くこともあります。実は世界最小のモーターズポーツなんです」と趣味について熱く話してくれました。



さくらフェスみの〜れ実行委員 伊藤 勇太さん

「みの〜れで人とのつながりが増えました！」と笑顔で話す伊藤さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.92

「企画を作っている段階でもう楽しくて・・・自分から進んで参加してくれる人ばかりなので自分たちが楽しかったら参加してくれる人もきっと楽しいんだろうなって思います。自分のように初めて実行委員に参加する方も何名かいるので、新しい風を吹き込みたいですね。みの〜れは年齢差のある人と話ができたり、同年代の先生と話ができたり楽しい所だと思えます。普段会わない方とつながることができるので、自分の世界が広がりますね」とさくらフェスについての意気込みを語ってくれました。

（藤田佐知子）